令和５年度版

長崎県中学校総合体育大会
運営に関わる
危機管理マニュアル

長崎県中学校体育連盟

１　県中総体における対応について（夏季大会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２　県中総体における対応について（秋季大会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

３　県中総体における危機管理・避難等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

４　駅伝競走大会の緊急時の対応について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

５　地震発生時の対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

６　弾道ミサイル落下の全国瞬時警報システム（Ｊアラート）が鳴った場合の対応・・・・・８

７　令和５年度長崎県中学校総合体育大会（夏季大会）における
熱中症事故の防止について（お願い）・・・・・９

８　各競技専門部　熱中症事故防止の対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

９　インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について・・・・・・・・・・・１４

参考資料

１　環境省　熱中症予防情報サイト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

２　熱中症・台風に関わる県中総体の対応について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

３　平成３０年度・令和元年度・令和３年度態度決定資料・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

県中総体における対応について（夏季大会）

（申し合わせ・確認事項）

１　各競技の実施（大会要項参照）

大会期間中、実施可能な競技のみ実施する。ただし、実施不可能な競技が生じた場合は、大会本部（主催者）・開催地（主管地）及び競技部長・専門部で協議の上決定する。

２　開始直前・途中の緊急な対応

（１）　各競技の現地での待機・中断については、競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、競技部長が決定する。また、競技によっては可能な限り監督の意見を聞くものとする。ただし、決定後直ちに大会本部（会長）に報告すること。

（２）　各競技の中止・延期については、競技部長・専門部（審判を含む）・開催地（主管地）と協議し、大会本部（会長）が決定する。

３　各競技会場内での運営上の対応

（１）　競技会場内での事故（負傷・急病・器物破損・生徒指導上の問題等）についての対応は、競技部長・専門部・開催地（主管地）で協議し、競技部長が決定する。ただし、事後電話ならびに文書（所定の様式）にて大会本部（会長）に報告すること。

（２）　重大な事故等については、大会本部（会長）の判断を求めること。

４　各競技における審判上の問題

（１）　審判上の問題については、審判長の判断に任せるものとする。

（２）　記録に残すべき抗議等の内容については、専門委員長がまとめておき、事後報告すること。

５　その他

（１）　上記に示されていない事項については、関係者で協議し、最終的にはそれぞれの責任者の判断により対応するものとする。

（２）　事故（負傷・急病）の対応については、救護担当を中心に対処し、その後の経過・措置状況を十分把握しておき、誠意をもって対応すること。

54-12

県中総体における対応について（秋季大会）

（申し合わせ・確認事項）

１　開会式および競技の実施（大会要項参照）

開会式の雨天時の態度決定は、大会本部（主催者）・専門部（場合によっては競技部長含む）・開催地（主管地）が協議の上、大会本部（会長）で決定し、５：３０までに各郡市町中体連に連絡する。

荒天時の場合の競技実施は、大会本部（主催者）・競技部長・専門部及び開催地（主管地）で協議の上決定し、５：３０までに各郡市町中体連に連絡する。

２　開始直前・途中の緊急な対応

（１）　開会式の中止・中断、会場・実施方法の変更等については、競技部長・専門部が開催地（主管地）と協議し、大会本部（会長）で決定する。ただし、基本線については事前に協議しておき、各郡市町中体連の了解を受けておく。

（２）　競技の待機・中断・中止・延期については、競技部長・専門部（審判を含む）・開催地（主管地）と協議し、大会本部（会長）が決定する。競技再開方法については、別に定める（駅伝競走大会の緊急時の対応について）。

３　競技会場内での運営上の対応

（１）　競技会場内での事故（負傷・急病・器物破損・生徒指導上の問題等）についての対応は、競技部長・専門部・開催地（主管地）で協議し、競技部長が決定する。事後、文書（所定の様式）にて大会本部（会長）に報告すること。

（２）　重大な事故等については、大会本部（会長）の判断を求めること。

４　競技における審判上の問題

（１）　審判上の問題については、審判長の判断に任せるものとする。

（２）　記録に残すべき抗議等の内容については、専門委員長がまとめておき、事後報告すること。

５　その他

（１）　上記に示されていない事項については、関係者で協議し、最終的にはそれぞれの責任者の判断により対応するものとする。

（２）　事故（負傷・急病）の対応については、救護担当を中心に対処し、その後の経過・措置状況を十分把握しておき、誠意をもって対応すること。

54-12

県中総体における危機管理・避難等について

1　全国瞬時警報システム（Ｊアラート）が鳴った場合の対応

（１）　緊急地震速報

①　試合等、生徒たちの動きを止める。

②　会場内外の役員、観客にも身を守るよう伝える。

③　安全な場所へ避難させる。

（２）　弾道ミサイル発射

①　競技を中断する。

②　近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難させる。

安全が確保された上で、教育委員会・大会本部・開催地（主管地）中体連・競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、大会本部（会長）が再開を決定する。

2　光化学オキシダント・ＰＭ2.5の警報・注意報等発令時の対応

開催地の健康被害防止措置に応じて、開催地（主管地）中体連・競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、競技部長の判断で競技の中断等の対応をとり、被害の防止に努める。

3　雷雲発生時の対応

雷鳴や雷雲が近づき危険と判断した場合、屋外では競技を中断し、選手、役員、観客を安全な場所へ避難させる。

4　不審者の対応

会場に、不審者対応（注意）に関する張り紙をする。また、試合の前後、合間にアナウンスで注意喚起する。

不審者と判断した場合は、退去を求める。退去しない、もしくは、再び侵入した場合は、危害を加える恐れがあると判断した場合、選手、役員、観客を安全な場所に隔離し、110番通報する。

5　緊急時対応のため専門部・開催地（主管地）中体連の事前準備

（１）　開催地が定めている気象関係の警報・注意報等発令時の対応を確認しておく。

（２）　警報・注意報等が発令時に速やかに周知できる連絡体制を整備する。

（３）　会場の担当者との事前打ち合わせを行う。

（４）　大会会場の避難経路を確認する。

（５）　ＡＥＤ設置場所を確認しておく。

（６）　緊急時の専門委員の役割分担を確認する。

（７）　大会出場者（引率者）・大会役員・補助員等への事前連絡を行う。

※　ＡＥＤ設置場所や避難経路については、できるだけアナウンス等でも周知する。

6　競技の再開について（上記１全国瞬時警報システム（Ｊアラート）が鳴った時を除く）

競技中断後は、警報等が解除され、負傷者等の有無を確認・処置を行い、会場の安全が確認された上で、競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、競技部長が再開を決定する。

不審者警戒中

○　声をかけさせていただくことがあります。

○　不審な方や大会運営に支障をきたす恐れのある方には
ご退場いただく場合があります。

○　場合によっては、１１０番通報させていただきます。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

長崎県中学校体育連盟

駅伝競走大会の緊急時の対応について

１．全国瞬時警報システム（Ｊアラート）発令時による対応について
（地震情報・津波情報・弾道ミサイル情報など）

（１） 全国瞬時警報システムが発令時は即座に競技を中断する。競技を中断するためには、アナウンサーによる緊急放送と競技役員からの指示で競技を中断する。

（２） メッセージを確認して、状況に応じて非難する。
（地震の時は、グラウンドの中央へ。弾道ミサイルは頑丈な建物へ。）

（３） 行政の指示に従い、実施不可能の場合は大会を延期する。安全が確認できたら競技を再開する。

２．豪雨による対応について

記録的な豪雨（警報発令）が当日から降っている場合、大会本部（長崎県教育委員会・長崎県中体連・同駅伝専門部・開催地・主管地中体連）で参加選手関係者の安全・競技役員の安全を考え実施不可能と判断した場合、大会予備日への延期を決定し、当日５時３０分までに各郡市町中体連に連絡する。

３．地震による対応について

（１） 全国瞬時警報システム（Ｊアラート）の発令を伴わない地震の発生では、走路の亀裂・倒木・地滑り等、競技に支障を及ぼすような被害がなければ競技を実施（継続）する。

（２） 競技の再開が困難と大会本部（長崎県教育委員会・長崎県中体連・同駅伝専門部・開催地・主管地中体連）で判断した場合は競技を中止する。

（３） 競技を再開する場合は、次の点を考慮し大会本部（長崎県教育委員会・長崎県中体連・同駅伝専門部・開催地・主管地中体連）が決定する。

① 余震の恐れがない。

② 走路の亀裂・倒木・地滑り等、競技に支障がない。

４．落雷について

地震についての対応に準ずる。

５．競技再開方法について

全国瞬時警報システム（Ｊアラート）発令時や雷注意報が発令され、危険と判断した場合は中断。全チームの走者が走り終わっている区間のタイム差で、中断時の次の区間を中継点からスタートして再開する。

例　パターン①全てのチームにおいて３区の走者が競技中に中断した場合
再スタートは４区から。２区のタイム差で時差スタートする。

パターン②２区と３区にまたがってレースが行われている際に中断した場合
再スタートは４区から。１区のタイム差で時差スタートする。

パターン③-1
１区の競技中の中断の場合
２区一斉スタートで競技を再開する。

③-2
１区と２区にまたがってレースが行われている際に中断した場合
３区一斉スタート

パターン④最終区競技中の中断の場合
その時点で競技終了する。

６．成績について

（１）パターン④で競技を終了した場合には、最終区の中継順で順位をつける。最終区へ中継が完了してない場合は、その前の中継順で順位をつける。

例）女子の場合

５区への中継が３チーム終了し、残り 29 チームは４区が競技している場合に競技終了

１位～３位は、５区への中継した順位とする。

４位～32 位は、４区に中継した順位とする。

（２）中断し、競技を再開した場合には、中断した区間の個人成績はなしとする。

７．レース途中に緊急時の対応を行った場合

上記「５．競技再開方法について」「６．成績について」を定めてはいるが、レース中断後（安全が確保された場合）に、臨時の評議員（各郡市町中体連会長）・理事（各郡市町中体連理事長）会を開き、下記内容を専門部と協議し、大会本部（会長）が決定する。

（１）　可能な限り、延期日に１区からの再レースを実施。

（２）　（１）の場合、オーダーについては原則変更を認めない。災害によるケガ等で出場できない場合は会の承認を得る。

その他、延期日にレースが実施できなかった場合においても、離島部のことを考えると安易に再延期を決定できないため、臨時の評議員・理事会を開き協議することとする。

また、災害に伴い、不測の事態が発生した場合も同様とする。

※　今年度はこの案で対応してみて、反省、課題等がでた場合は次年度に生かしていきたい。

地震発生時の対応

長崎県中学校体育連盟

1　地震発生時の初動マニュアル

地震直前

緊急地震速報が出たら、競技を中断
　周りの人に知らせ、身を守る準備をする
安全な場所へ避難
　体育館の場合は机の下や中央部に集まる。落下物に注意。
　グラウンドの場合は、グラウンドの中央部へ集まる。建物や電柱等から離れる

↓

地震発生

まず、身を守る
　机の下などへ潜って落下物から身を守る

↓

揺れが収まったら

1　身の安全の確保
　あわてて行動すると、飛び散ったガラスの破片等でけがをする恐れがあるので、落ち着いて行動する
2　非常脱出口の確保
　窓や戸を開ける
3　避難の判断
　テレビ、ラジオ、役場等からの正しい情報を集め、状況の把握をする

避難

被害なし
安全が確認できたら競技を再開

消防庁　地震防災マニュアルより

弾道ミサイル落下の全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴った場合の対応

（1）大会前（当日の朝など）

① その時にとれる避難行動を行う。

② Jアラート追加情報の確認

○ 領海外にミサイルが落下した場合 → 予定通り大会実施

○ 領土・領海内にミサイルが落下した場合 → 自宅または宿泊施設待機

→ 大会実施の有無等は、教育委員会・大会本部・開催地及び競技部長・専門部で協議の上、決定する。

（2）大会中

Jアラートが鳴った ⇨ 全国瞬時警報システムのメッセージを聞く。

競技の中断 ⇨

○屋外競技の場合
選手や保護者・役員を頑丈な建物へ避難させる。

●屋内競技の場合
窓から離れた場所へ誘導し、待機させる。
屋外にいる選手や保護者・役員を体育館内へ避難させる。

カーテンがある場合はカーテンを閉め、窓の近くから離れさせる。

けが人がいる場合は、応急手当をする。

弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なります。そのため、テレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて情報収集に努める。

⇩

Jアラート追加情報の確認

○ 領海外にミサイルが落下した場合 → 予定通り大会実施（再開）

○ 領土・領海内にミサイルが落下した場合 → ・競技の中断
・安全が確保されるまでその場で待機

→ 大会実施（再開）の有無等は、教育委員会・大会本部・開催地及び競技部長・専門部で協議の上、決定する。

令和５年６月２９日

関　係　各　位

長崎県中学校体育連盟
会長　修　行　勝　則
（　公　印　省　略　）

令和５年度長崎県中学校総合体育大会（夏季大会）における
熱中症事故の防止について（お願い）

日頃から本連盟の諸行事にご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、標記大会が７月２２日（土）から２４日（月）の３日間、佐世保市・大村市・諫早市・島原市・西彼杵郡・長崎市の各会場で開催されます。参加する中学生にとって思い出に残る大会となるよう、多くの方々のご協力をいただきながら現在準備を進めております。
その中で、今年度も熱中症事故防止の対策を講じる必要があると判断いたしました。本連盟としては下記のとおり、対策の一案を示させていただきます。例年の慣例にとらわれることなく、競技専門部、主管地をはじめとした各郡市町中体連と十分に協議しながら、生命、安全を第一に大会を運営していきたいと考えております。
つきましては、大会に参加する生徒、役員、応援者等すべての関係者におかれましても、熱中症事故防止に向けたより一層の対策を講じていただくとともに、熱中症事故防止のための大会運営へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

記

１　大会運営に関すること

（１）　開会式・閉会式を実施しない。

（２）　大会に参加するすべての関係者に対し、涼しい服装や帽子着用、十分な飲料水、冷却用品の持参など、最大限の熱中症対策を行うよう事前に周知する。

（３）　生命、安全を第一に守ることが基本。競技規則の一部変更、競技会場の環境や気象状況から判断し、選手・審判・補助員等への水分補給や休息時間の確保及び会場の換気や散水のため、一時中断等もあり得る。

（４）　試合開始時間や終了時間の変更の検討。２日目は参加チームや主管地（会場）の了承がとれれば、開始時間を早めることも可能と考える。また、大会期間中、試合を中断せざるを得なくなった場合、どうしても終了時間が遅くなることが予想される。出場チームの出発時間や帰着時間を考慮しながら終了時間を検討する。

（５）　場合によっては、試合時間の短縮、一時中断、競技方法（ゲーム数を減らす等）の工夫を行う。

（６）　全国大会、九州大会の参加チーム（者）を選抜する大会である。優勝チームを決めないといけない競技もあるが、２チーム九州大会出場の競技は、決勝戦を行わない場合もある。

（７）　全ての会場に経口補水液、塩分チャージタブレッツを準備する。

（８）　競技専門部でも対策を検討（別紙参照）しているので、ご理解とご協力をお願いしたい。

２　施設・サイト等に関すること

（１）　可能な限り冷房のある休憩室を確保。

（２）　熱中症計の準備を県本部で行う。

（３）　環境省熱中症予防情報サイト等よりデータ収集及び今後の予測と確認。

３　応援に関すること

（１）　応援者に対して、給水・日陰に移動して休養することなどの呼びかけを放送や電光掲示板、案内プラカード等で行う。

（２）　救急車の要請は大会本部（競技専門部）で行うことをアナウンスする。（状況によってはその限りではない）

（３）　過去の事例を見ると、応援生徒、補助員、応援保護者等の救急搬送が目立っている。寝不足、食欲不振、体調不良等が熱中症を引き起こす原因となるため、各自で健康管理を十分に行うこと。大会当日に体調不良の応援生徒、補助員、応援保護者等がいた場合は、参加させないこと。また、自ら参加を辞退すること。

【お問合せ先】
長崎県中学校体育連盟事務局
理　事　長　　濵崎　大輔
☎　０９５－８００－２１１２

（別紙）

各競技専門部　熱中症事故防止の対策

注）試合時間の短縮等の対策は、あくまで（案）であり、試合当日の状況をみて県本部と専門部で話し合い、監督会議等で決定をする。

〈陸上競技〉	・こまめなアナウンスと電光掲示板を使った注意喚起（気象条件、水分補給など） ・アップ会場として室内雨天練習場も開放 ・タイムテーブルの変更（長距離種目を朝夕の時間帯に実施） ・投てき、跳躍種目の待機場所を通路近くの日陰に変更、試技直前に競技場へ移動 ・３０００mにおいては、競技中に水分補給ができるよう準備
〈水泳競技〉	・場内アナウンスや電光掲示板でのこまめな注意喚起 ・氷や経口補水液等の準備 ・空調設備（エアコン）の使用
〈体操競技〉	・氷等の準備 ・アナウンスでの水分補給の呼びかけ ・エアコンの利用 ・プログラムに『熱中症予防対策』『応急処置』などの啓発資料を差し込んだり、観客席に啓発ポスターを掲示したりする。 ・試合間を十分にとり、水分補給や食事の時間を確保する。
〈新体操〉	・アナウンスでの呼びかけ（水分補給・気温湿度など） ・入館前入口待機の制限 ・プログラムに『熱中症予防対策』『応急処置』などの啓発資料を差込み ・救護係に対応策として、氷などを準備してもらう。 ・練習時間の短縮、休憩時間の確保
〈バスケットボール〉	・出場全チームに県本部より送付された熱中症についての資料を配布し、事前にできる準備をして大会に臨むようお願いする。 ・大会初日から空調を入れる。 ・会場増で一会場あたりの試合数を減らしている。
〈バレーボール〉	・WTO（給水のためのタイムアウト）でこまめな水分補給 ・審判員は後部記録席に水分を準備、セット間に水分補給 ・線審（補助員生徒）は、タイムアウトやセット間など、座って休憩・水分補給 ・空調がない会場は、試合間を長めにとり、換気を行う。
〈ハンドボール〉	・不審者対策のアナウンスと合わせて、こまめに水分補給を行うようにアナウンスを行う。 ・熱中症予防の観点より、空調施設が整っている環境で大会を実施する。 ・給水タイム（前後半に1回ずつ）を設ける。 ・試合後のミーティングを屋外で長時間しないように事前に確認する。 ・救護用として、経口補水液や氷などを多めに準備するが、各チームにも熱中症予防の観点から必要なものを、クーラーボックスなどを使って準備しておくように周知する。
〈サッカー〉	・冷却用氷・スポーツドリンク・経口補水液を準備する。 ・出場チームに熱中症対策を促すメール送信（選手・保護者に対して） ・緊急時は、隣接施設にて対応（空調が入っている） ・前後半（それぞれの半分の時間を経過した頃）に１回ずつ、飲水タイムやクーリングブレイクをとる。
〈軟式野球〉	・４回終了時または試合開始後４５分頃を目安に給水タイムをとる。（5分以内） ・こまめなアナウンスと電光掲示板を使った注意喚起（気象条件、水分補給など） ・給水タイムの際には、全員がベンチに座って、給水を行うよう指導者に義務付ける。 ・１イニングが２０分を超える場合は、一旦、給水タイムをとる。（3分以内） ・投手及び捕手の水分補給のためのタイム申請はタイム回数にカウントしない。（ただし、指導者の指示が行われた場合、カウントすることもある）
〈卓球〉	・監督会議や館内放送にて、水分補給等の熱中症対策を欠かさないように呼びかけ
〈相撲〉	・クーラーボックスに大量の氷を準備 ・選手、観客用にテントを準備 ・適宜、塩をなめさせる。
〈柔道〉	・会場内におけるこまめな注意喚起 ・個人戦、団体戦において試合が連続する場合は、３分間の休憩を入れる。

〈剣道〉	・個人戦、団体戦において試合が連続する場合は、３分間の休憩を入れる。 ・個人戦と団体戦の代表戦において、延長戦が長引いた場合、面マスクとマウスシールド着用を義務づけているため、下記の対応をとるが、状況に応じて時間を変更する可能性がある。 （対応）試合時間３分の後、（延長２分→延長２分→【小休止(深呼吸程度)】→延長２分→延長２分→【面を外しての休息・給水（３分）】）を試合の続く限り繰り返す。 ・エアコンのある会場で試合を行う。 ・養護教諭、医療スタッフ等へも熱中症への対応ができるように、準備をお願いする。
〈バドミントン〉	・監督会議時に熱中症対策としてのプリントを配布し、十分な給水と休養を取らせるように周知徹底させる。 ・エアコンを常時かける。（設定２５度） ・これまでは競技場内のみエアコンを使用していたが、観客席にもエアコンを使用する。 ・試合コート数を増やすことにより、競技時間の前倒しをはかる。 ・審判長または競技部長が必要と感じた時には、１１点またはゲーム後のインターバルの延長を行うことがある。（１１点の時、通常は１分であるが２分　ゲーム後は通常は２分であるが３分） ・試合間隔を通常は５分のところ１０分にする。 ・競技役員（駐車場係）については、最大９：３０までの役目とする。 ・観客には、エアコンの口をふさがないように呼びかける。 ・競技役員の巡回
〈ソフトボール〉	・給水タイム（完全休息）の設定（４回終了時点、状況によっては３回、５回終了時点にて） ・延長戦になった場合は、７回終了時点で給水タイムを設定 ・できるだけ帽子をかぶるよう促す。
〈ソフトテニス〉	・監督は選手・応援者に朝から健康観察を行い、生徒の健康状態を把握させる。 ・競技中は選手・応援に関わらず帽子を着用させ、水分補給をこまめに行わせる。 ・各チームにテント、水分や氷の準備をさせる。 ・各チームで応援者（特に１年生）には必ず配慮し、体調が悪い際の対応（宿舎に戻るや帰宅するなど）をあらかじめ考えておくようにさせる。 ・クーラーボックス、うちわ、日傘（銀色などの反射しないもの）のコートへの持ち込みを許可する。（ただし、熱中症対策として使用すること） ・１ゲームごと、またファイナルゲームのチェンジサイズ時に水分補給を認める。（試合前に水分を審判台下に置いておくこと） ・チェンジサイズのコーチングの際にはできるかぎり選手を座らせて水分補給・休息をとらせる。 ・団体戦の応援については応援選手は必ず座って応援させる。 ・応援選手も水分補給をこまめに行わせる。 ・団体戦、個人戦ともに連続する試合は、休息のために必ず１０分あける。（放送で開始時間をお知らせする） ・当日の熱中症指数や進行状況に応じて、一斉に休息をとる時間を設けることもありうる。
〈ラグビーフットボール〉	・ハーフタイムの時間を当日の天候によって変更する場合あり。 ・エアコンの部屋を使用する予定。 ・アップの時間を４０分以内にする。
〈空手道〉	・空調設備の調節を適宜行い、適切な気温管理に努める。 ・練習会場に扇風機を設置する。 ・試合を続けて行う場合は、個人戦で５分（普通は９０秒）、団体戦で１０分（普通は５分）に休息時間を延ばす。
〈テニス〉	・監督は選手、応援生徒に対し、朝から必ず健康観察を行い、生徒の健康状況を把握する。 ・大会中は、各チームにて選手、応援生徒に対し帽子を着用させ、水分補給をこまめに行わせる。 ・水分補給は熱中症に有効なものを用意させる。 ・うちわ、日傘のベンチでの利用を許可する。ただし、熱中症対策として使用する。また、団体戦のベンチに入る指導者も利用を許可するが、 うちわについては、プレイ中は使用しない。 ・通常、チェンジサイズのレスト(休憩)時しか給水ができないが、チェンジサービス時にも給水を認める。 ・団体戦、個人戦ともに、試合が連続する場合は、１５分間レスト(休憩)をとる。 ・進行状況に応じて、時間の余裕があれば、試合を中断し、一斉にレスト(休憩)を設けることもあり得る。 ・応援生徒には必ず配慮し、体調が悪い際の対応(保護者連絡や帰宅方法など)をあらかじめ考えておくこと。また、体調が悪い場合は無理して応援に来ない、来させない。 ・団体戦の応援については、できるだけ座って応援させる。また、水分補給をこまめに行わせる。

令和5年度　長崎県中学校総合体育大会　競技・日程・会場

大会名		長崎県中学校総合体育大会									
	期日	7月			主管地	会場	熱中症計		経口補水液	タブレッツ	保管状況
	競技	22日(土)	23日(日)	24日(月)			(台)	(No.)			
1	バレーボール	○	○	○	大村	大村市体育文化センターシーハットおおむら	1	㉕	5	10	専門部
		○			大村	長崎県立大村工業高等学校体育館	1	㉖	5	4	専門部
2	サッカー	○			島原	島原市営陸上競技場	1	⑨	5	4	専門部
		○	○	○	島原	島原市営平成町多目的広場	1	⑩	5	10	専門部
3	空手道		○		佐世保	長崎県立武道館	1	⑫	5	4	専門部
4	剣道	○			佐世保	佐世保市東部スポーツ広場体育館	1	⑬	5	3	専門部
5	バドミントン	○	○		佐世保	佐世保市体育文化館	1	⑧	5	8	専門部
6	ソフトボール	○	○		佐世保	佐世保市東部スポーツ広場ソフトボール場	1	⑱	5	8	専門部
7	テニス	○	○		佐世保	佐世保市総合グラウンド庭球場	1	㉘	5	8	専門部
8	陸上競技	○	○		諫早	トランスコスモススタジアム長崎	1	①	10	10	県本部
9	相撲	○			諫早	長田いこいの広場相撲場	1	②	5	4	専門部
10	ハンドボール	○	○		諫早	諫早市中央体育館	1	③	5	6	専門部
11	軟式野球	○	○		諫早	スポーツパークいさはや　諫早市第1野球場	1	④	5	8	専門部
		○			諫早	スポーツパークいさはや　諫早市第2野球場	1	⑤	5	4	専門部
		○	○	○	長崎	長崎市総合運動公園かきどまり野球場	1	⑥	5	10	専門部
		○			長崎	県立長崎西高等学校野球場	1	⑦	5	4	専門部
12	水泳競技	○	○		長崎	長崎市民総合プール	1	⑳	5	6	県本部
13	新体操	○			長崎	長崎市民体育館	1	㉓	5	3	専門部
14	体操競技		○		長崎	長崎市民体育館	1	㉒	5	3	専門部
15	ラグビーフットボール	○	○		長崎	長崎市営ラグビー・サッカー場	1	㉑	5	8	専門部
16	柔道	○	○		長崎	長崎県立総合体育館武道場	1	㉔	5	8	専門部
17	バスケットボール	○	○	○	長崎	長崎県立総合体育館メインアリーナ	1	⑬	5	10	専門部
		○	○	○	長崎	長崎県立総合体育館サブアリーナ	1	⑭	5	10	専門部
		○			長崎	純心女子高等学校体育館	1	⑮	5	4	専門部
		○			長崎	長崎市立桜馬場中学校	1	⑯	5	4	専門部
18	ソフトテニス	○	○		長崎	長崎市総合運動公園かきどまり庭球場	1	㉚	5	10	県本部
19	卓球	○	○		西彼杵	長与総合公園長与町民体育館	1	⑰	5	8	専門部
20	駅伝	11月9日(木)			雲仙・南島原	トランスコスモススタジアム長崎及びジョギングコース					県本部
							計		140	179	
						開催地中体連へ予備として、経口補水液各10本、タブレッツ長崎5その他3袋 →			50	17	
						県本部予備 →			26	14	
									216	210	

【配付数の目安】※あまりは九州大会で使用する。

●会場数×経口補水液5本

●1会場×日数×タブレッツ3袋（熱中症が心配される会場は4袋

⇒タブレッツについて、3日間競技は予備＋1

⇒県本部は、箱買いができるよう、きりの良くなる数を予備として保持（経口補水液24本/箱、タブレッツ6袋/箱）

インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について

1　インフルエンザの主な症状について
発熱（38℃以上）、関節の痛み、筋肉痛、喉の痛み、頭痛、全身の倦怠感、鼻水（鼻汁）または鼻づまり、咳など

2　コロナウイルス感染症の主な症状について
発熱、鼻水、喉の痛み、せきなどの呼吸器症状、嗅覚異常や味覚異常など

3　予防措置
（１）具体的な予防策
うがいの励行、手洗いの励行、アルコールによる手指消毒、使い捨てマスク、人ごみを避ける、健康管理、健康状態の観察（チェック）
（２）可能な限り、各宿舎入り口、大会会場入り口等に手指の消毒薬を設置する。
（３）チーム及び個人（参加者）の責任において、うがい、手洗い、マスクの着用、アルコール消毒など予防に努める。
（４）各チーム監督または引率者の責任のもと、別紙（様式１）健康観察記録表により参加選手等の健康観察と記録を行い、常に健康状態を把握すること。（提出の必要はない。）

4　大会（事業）期間前の具体的な対応について
感染者及び発病者は、指定された療養期間が解除されるまで、大会（事業）参加はできない。

5　大会（事業）期間中の具体的な対応について
（１）大会（事業）期間中の健康観察により、上記１・２のような症状が確認された場合は、直ちに医療機関にて受診する。医療機関において受診後、感染の有無に関わらず、別紙（様式２）受診報告書に必要事項を明記し、長崎県中学校体育連盟（以下、県中体連）に報告する。
（２）インフルエンザやコロナウイルス感染症等の診断があった場合、関係機関や保護者等と連携し、該当者を安全かつ速やかに帰宅させるなどの対策を講じる。
（３）上記１・２以外でも、体調不良者があった場合、決して無理はさせず、チーム（個人）の引率者や監督が学校や保護者等と連絡を取り合いながら、帰宅させるなどの配慮を行うこと。また、その後も引き続きチーム（個人）の健康観察を行い、参加者の健康状態の把握に努めること。

6　その他の対応について
（１）学校閉鎖、学級閉鎖等の状況にある大会参加校・選手については、状況を正確に把握するために、チーム全体の健康観察を迅速かつ的確に実施し、得られた情報を踏まえ、医療機関、教育委員会、当該中学校、当該中体連等で慎重に審議し、選手、チーム等の派遣の可否を決定する。（その旨、県中体連に報告）
（２）感染症に伴い、万が一、参加できない、もしくは途中棄権または辞退せざるを得ないチーム（選手）が出た場合、「いじめ」や「偏見」は決して許されることではないという共通理解のもと、チーム（選手）が責められることがないよう、すべての大会関係者で適切な対応に努める。
（３）その他の感染症（ノロウイルス等）についても、同様の対応を行う。
（４）感染症において、新たな変異株等が生じた場合、直ちに必要な対応を講じることもあり得ますのでご理解ください。

（様式１）　　令和　　年　　月　　日

健康観察記録表

（　　）県中総体（　　）県新人大会（　　）ジュニアスポーツ推進事業　※○をする

【　男子　・　女子　】（　　）競技

学校・チーム名　（　　）

No	氏　名	区分	本日の体温（℃）	呼吸器症状（○で囲む）	呼吸器以外の症状（○で囲む）	備　考
		役員		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
		役員		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
		役員		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
		役員		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
1		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
2		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
3		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
4		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
5		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
6		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
7		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
8		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
9		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
10		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
11		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
12		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
13		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
14		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
15		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
16		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
17		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
18		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
19		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	
20		生徒		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛・咳・その他	なし・下痢・嘔吐・頭痛・その他	

※　枠が不足する場合は、用紙を追加してください。

※　学校・チームごとに、参加者全員の健康観察を行い、記録してください。

※　提出の必要はありません。

（様式２）

受診報告書

<table>
<tr><td>競　技　名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>学 校 名
チーム名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">受　診　者</td><td>氏　名</td><td></td><td>男 ・ 女
（　　歳）</td></tr>
<tr><td>学　年</td><td colspan="2">年</td></tr>
<tr><td>保護者氏名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>保護者
連絡先</td><td colspan="2">☏</td></tr>
<tr><td>症状発生年月日</td><td colspan="3">令和　　年　　月　　日（　）　午前・午後　　時　　分頃</td></tr>
<tr><td>主な症状</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>病　院　名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>診断の結果</td><td colspan="3">１　（　　）と診断されました。
２　（　　）の疑いがあると診断されました。
３　（　　）の感染はありませんでした。
４　その他（　　）</td></tr>
<tr><td>その他、医師から
の所見など</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">記載責任者</td><td>氏　名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="2">☏</td></tr>
</table>

※　大会期間中に受診した場合は、受診後、必ず、県中体連までご提出ください。
（メールまたはＦＡＸ）
【メール】info@nagasaki-chutairen.jp
【ＦＡＸ】０９５－８００－２５４７

	3時	6時	9時	12時	15時	18時	21時	24時
今日(6月7日)							20	18
明日(6月8日)	18	18	21	23	24	22	20	19
明後日(6月9日)	18	18	23	26	26	23	22	20

３０年度参考

平成３０年7月２７日

熱中症・台風に関わる県中総体の対応について

長崎県中学校体育連盟

１　全般について

①　全ての競技別会場で実施を予定していた開会式を中止する。

※　生徒の負担軽減のため（熱中症事故防止）。

②　ただし、競技初日の競技開始時間は変更しない。

２　台風に伴う警報が発令された（発令されそうな）場合の態度決定について

①　午前１１時までに警報が解除された場合　→　「競技実施」

②　午前１１時に警報が解除されていない場合　→　「中止・延期」

※　①②のいずれも、態度決定が行われるまで自宅、宿舎に待機する。

③　試合実施途中に警報が発令されそうな場合は、県中体連と専門部が協議し、決定した内容を速やかに各郡市町理事長に連絡する。

３　態度決定の伝達方法について

①　県中体連ホームページのトップページ

②　県中体連　→　郡市町中体連　→　各学校　→　参加チーム

③　県中体連　→　県専門委員長　→　競技部長・競技関係者

※　①～③を同時進行で行う。

〈試合実施途中に警報が発令されそうな場合〉

④　県中体連　→　県専門委員長　→　参加チーム

⑤　県中体連　→　郡市町中体連　→　各学校

※　④、⑤を同時進行で行う。

平成３０年7月２８日

Ｈ３０県中総体２日目（２９日）一部日程等変更について

長崎県中学校体育連盟

台風接近の恐れと熱中症対策のため、下記のとおり、一部競技において日程等変更いたします。

記

①　ラグビーフットボール

３位決定戦　　１０：００開始　→　　９：３０開始に変更

決　勝　戦　　１１：００開始　→　１０：３０開始に変更

②　ソフトボール

準　決　勝　　１０：００開始　→　　９：００開始に変更

（２試合）

③　バレーボール

本来ならば、代表リーグ戦１回戦まで実施予定。場合によっては、２回戦まで行う可能性あり。

④　軟式野球

本来なら、準々決勝４試合を行う予定だが、場合によっては、準決勝まで行う可能性あり。

※　①②は決定。

※　③④については、台風接近の状況を考えて、最終的には、当日（２９日）判断する。バレーボールは９：００（予定）に会場で、軟式野球は監督会議で、それぞれ参加校に伝える。

Ｈ３０県中総体台風に伴う態度決定資料

○　７／２８（土）

☆　態度決定実施

佐世保　５：５０　大村　なし　諫早　５：５０　島原　５：５０　長崎　なし

※　諫早（軟式野球）、ソフトボール、サッカーから実施するとの連絡。

長崎県中体連 HP　アップ（６：００）

☆　明日の態度決定

台風接近の恐れと熱中症対策のため、下記のとおり、一部競技において日程等変更

長崎県中体連 HP　アップ（２１：３０）

①　ラグビーフットボール

３位決定戦　　１０：００開始　→　　９：３０開始に変更

決　勝　戦　　１１：００開始　→　１０：３０開始に変更

②　ソフトボール

準　決　勝　　１０：００開始　→　　９：００開始に変更

（２試合）

③　バレーボール

本来ならば、代表リーグ戦１回戦まで実施予定。場合によっては、２回戦まで行う可能性あり。

④　軟式野球

本来なら、準々決勝４試合を行う予定だが、場合によっては、準決勝まで行う可能性あり。

※　①②は決定。

※　③④については、台風接近の状況を考えて、最終的には、当日（２９日）判断する。バレーボールは９：００（予定）に会場で、軟式野球は監督会議で、それぞれ参加校に伝える。

○　７／２９（日）

☆　態度決定実施

会長と確認（５：２５）　→　HP 掲載（予定どおり実施）

長崎地方気象台　夜中から朝方にかけて大雨　夕方までに警報がでる可能性は低い。海上にはでる

上記

③　バレーボール　代表リーグ戦２回戦まで行う。

④　軟式野球　　予定どおり、準々決勝４試合のみ。万が一、３０日延期になっても３１日に実施できると判断。

注）　万が一の場合、ベスト４による抽選もありうることについて念をおした。

HP アップ（９：００）←決定時間＆監督会議（軟式野球）のため

☆　明日の態度決定

※　昼から夕方にかけて専門部と連絡調整。明日の対応を検討する。

①　軟式野球　別添写真

②　新体操　　６：００解除されていれば通常実施

１１：００解除なし→中止

１１：００解除あり→１５：００or 選手が揃い、準備出来次第開始

③　サッカー　６：００解除されていれば通常実施

９：００解除なし→順延

★　９：００に変更理由　各学校のためにも早く判断したい

９：００解除あり→１２：００開始

④　バレー　１２：００まで態度決定を延ばしてほしい

★　試合数が少ないため、運営できる。役員、審判員確保のため、できるだけ順延したくない。

１２：００解除なし→順延

１２：００解除あり→３時間後を目処に試合開始

◎　朝から警報がなければ、前日試合数を増やしているため１２：００開始に変更。

⑤　卓球　　６：００解除されていれば通常実施

１１：００解除なし→順延、順延の場合、９：００～１４：００短縮プログラム

９：００解除あり→１２：００開始

１１：００解除あり→解除から約２時間後を目処に試合開始

⑥　バスケ　　６：００解除されていれば通常実施

８：００解除なし→中止、２日目の結果で九州代表を決める

★　８：００に変更理由　審判役員の確保が困難

８：００解除あり→第１試合１２：００開始　第２試合　１５：００

☆　関係郡市町に連絡、卓球以外は専門部から各学校へ。卓球は理事長を通して。

注）　上記の件は混乱を招く恐れがあるため、HP アップなし。

○７／３０（月）

態度決定実施　５：３０～６：００

警報が解除どころかでなかった。よって、前日の計画どおり全競技実施→専門委員長と確認

会長とも確認

↓

理事長連絡網で回す

※　関係学校への連絡は専門部。卓球のみ理事長から各学校

全競技の実施時間（内容）を HP　アップ（６：００）完了

令和元年度長崎県中学校総合体育大会　態度決定資料

7／２７（土）

（1）　態度決定実施　※　前日の会議で確認
　①　佐世保　５：４５　大村　５：５０　諫早　なし　西彼杵　なし　長崎　なし
　②　長崎県中体連 HP　アップ（６：００）「予定どおり実施」

（2）　明日の態度決定の確認　※　大会終了後、開催地理事長に確認
　①　佐世保　５：４５　大村　５：５０　諫早　なし　西彼杵　なし　長崎　なし
　②　態度決定の内容を長崎県中体連 HP　アップ（６：００）予定

（3）　中断等
　◯　ソフトテニス　途中雨のため中断

7／２８（日）

（1）　態度決定実施
　①　佐世保　５：４５　大村　５：５０　諫早　なし　西彼杵　なし　長崎　なし
　②　長崎県中体連 HP　アップ（６：００）「予定どおり実施」

（2）　明日の態度決定の確認　※　大会終了後、開催地理事長に確認
　①　佐世保　なし　大村　なし　長崎　なし
　②　態度決定の内容を長崎県中体連 HP　アップ（６：００）予定

（3）　中断等
　◯　ソフトテニス　コートが３５℃を超えたため中断　３０分程度

7／２９（月）

（1）　態度決定なし
　①　佐世保　大村　長崎
　②　長崎県中体連 HP　アップ（５：４５）「予定どおり実施」

（2）長崎に雨が降り出した
　①　サッカー　予定通り実施（８：００専門委員長と TEL で確認）
　②　軟式野球　８：００の役員会で協議する（７：４５専門委員長と TEL で確認）
　　→会長にこのことをラインで伝える
　　→９：３５予定通り実施の連絡（専門委員長）→会長へラインで伝える

（3）　中断等
　◯　軟式野球　途中雨のため中断　２０分程度

令和３年度長崎県中学校総合体育大会　態度決定資料

７／２５（日）

（１）　態度決定実施　※　前日の会議で確認

①　佐世保　なし　大村　なし　諫早　なし　島原　６：００　長崎　なし

②　島原市中体連から６：００連絡あり

③　長崎県中体連 HP　アップ（６：００）「予定どおり実施」

（２）　明日の態度決定の確認　※　大会終了後、開催地理事長に確認

①　佐世保　大村　諫早　島原　長崎　すべてなし

②　態度決定の内容を長崎県中体連 HP　アップ（６：００）予定

（３）　中断等

◯　全競技なし

７／２６（月）

（１）　態度決定実施

①　佐世保　大村　諫早　島原　長崎　すべてなし

②　態度決定の内容を長崎県中体連 HP　アップ（６：００）

（２）　明日の態度決定の確認　※　大会終了後、開催地理事長に確認

①　佐世保　諫早　島原　長崎　すべてなし

②　態度決定の内容を長崎県中体連 HP　アップ（６：００）予定

（３）　中断等

◯　全競技なし

７／２７（火）

（１）　態度決定実施

①　佐世保　大村　諫早　島原　長崎　すべてなし

②　態度決定の内容を長崎県中体連 HP　アップ（６：００）

（２）　中断等

◯　全競技なし